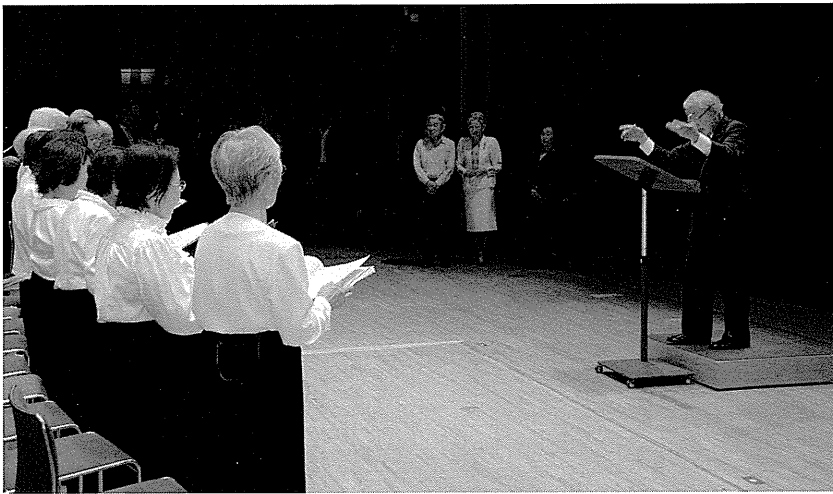


天皇皇后両陛下、 老人クラブ活動を御視察

「敬老の日」にちなむ行幸啓で
東京都練馬区老人クラブ連合会へ



〔写真提供：練馬区広聴広報課〕

天皇皇后両陛下は9月30日、「敬老の日」にちなむ行幸啓で練馬区老人クラブ連合会（クラブ数・136クラブ、会員数・10,297名）の取り組みを御視察にられました。

当日、会場となった区立練馬文化センターで、同連合会・増田時枝会長、厚生労働省老健局・三浦公嗣局長、練馬区・前川耀男区長、練馬区議会・村上悦栄議長のお出迎えを受けられた両陛下は、三浦局長から施策概要を御聴取にられた後、増田会長の御先導・御説明により、「さわやかコーラス教室」「フラダンス教室」の活動を御覧にられました。

この教室は、練馬区老人クラブ連合会が会員相互の親睦と健康の保持・増進を図ることを目的に実施している「老人大学教室」の一つで、それぞれ月2回開催しています。

両陛下は、披露された歌、ダンスに盛んに拍手を送られ、「高齢の方が元気であることは心強いですね」「つまでもお元気で続けください」などと参加者一人ひとりに親しくお声かけにられ、参加した会員は「一生の思い出になりました」「これからの活動の励みになります」と感激いっぱいの様子でした。

なお、両陛下が長年にわたりお続けになられてきた「敬老の日」にちなむ御訪問は、本年度で最後となり、来年以降は皇太子ご夫妻や秋篠宮ご夫妻にお譲りされることになっています。老人クラブとしては、両陛下による最後の御視察を賜るという栄を授かることとなりました。